

Ⅱ. 第 2 期「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要

目的：

「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国が 2019 年 12 月に改訂した、第 2 期「総合戦略」を勘案しつつ、次の 5 か年（2020～2024 年度）を計画期間とする本県の第 2 期「総合戦略」を策定する。

1. 第 2 期に向けた基本的な考え方

「日本一元気で、すべての人が輝く、住みやすい愛知」を目指して、東京一極集中にストップをかけ、日本の発展をリードしていけるよう、地方創生に全力を尽くす

- ◆「日本一元気な愛知」の産業力のさらなる強化
 - 人口増加をできるだけ維持するため、産業力のさらなる強化と、イノベーションを促進し、新たな産業を創出していくことで人を呼び込む力の向上を図る。
 - 「ジブリパーク」を始めとした新たな魅力の創造・発信、県内大学の魅力づくり・活性化に取り組むことで、若者等を引きつける魅力ある地域づくりを進める。
- ◆すべての人が活躍する「日本一輝く愛知」のさらなる進化
 - 性別・年齢・国籍・障害の有無に関わらず、全ての人々が活躍する社会、生涯にわたって、希望や生きがいを持って働き、暮らしていける地域づくりを推進する。
- ◆「日本一住みやすい愛知」のさらなる発信
 - U I J ターンの促進、東京圏にはない本県の住みやすさの発信により、東京圏等からの人材の還流と定着を図る。また、関係人口の創出・拡大に取り組む。

2. 重視すべき視点

今後 5 年間に於いて、特に以下の 5 つの視点を重視して、第 1 期の「総合戦略」の基本的な枠組みを維持しつつ施策の充実を図る。

視点 1 時代の流れを力にした産業革新・集積

視点 4 若い世代の希望をかなえ、誰もが活躍できる社会

視点 2 人材を育て、生かす

視点 5 バランスのとれた持続可能な地域づくり

視点 3 新たな魅力の創造と発信

3. 基本目標と施策

5つの「重視すべき視点」を踏まえ、以下の6つの基本目標を設定し、具体的な施策・事業を提示した。（下線は今回追加した新たな取組等）

<基本目標①>しごとづくり

時代の流れを力に産業競争力を高めるとともに、イノベーションによる「しごと」創出、人材育成を進める。

- ◆ モビリティに関わる新たな技術・サービスへの対応
- ◆ 近未来技術の社会実装に向けた取組の加速化、航空宇宙産業の海外への販路拡大等の支援
- ◆ 国内外の大学・関係機関等と連携したスタートアップの育成・集積、起業の促進
- ◆ 中小企業の販路拡大・海外展開・事業承継等への支援
- ◆ 科学技術系人材やグローバル人材の育成・確保
- ◆ 農林水産業における次世代技術導入支援、担い手育成

等

<基本目標④>結婚・出産・子育て環境づくり

若い世代が希望を持って働き、暮らし、安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる。

- ◆ 体系的・系統的なキャリア教育の推進
- ◆ 愛知労働局と連携した若者の総合的な就労支援、就職氷河期世代の活躍支援
- ◆ 企業と協力した婚活イベントなど出会いの場の創出
- ◆ 周産期医療体制の充実や産科医の確保
- ◆ 子どもの貧困対策、待機児童解消に向けた保育所等の整備、放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実支援
- ◆ 幼児教育・保育の無料化の実施
- ◆ 女性の再就職や起業への支援等の女性の活躍促進、企業におけるテレワーク導入促進など、働き方改革の推進

等

<基本目標②>魅力づくり

「ジブリパーク」を始めとした新たな魅力の発信などにより、国内外から人を引きつける魅力ある地域をつくる。

- ◆ ジブリパーク整備の推進
- ◆ 着地型観光等の新たなニーズへの対応や広域観光の推進
- ◆ インバウンドの受入れ環境や観光拠点の整備
- ◆ 愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」を活用した展示会産業の振興、MICEの誘致・開催に資する高級ホテルの立地促進
- ◆ 世界的なスポーツ大会の開催・招致や大会を契機とした地域活性化、人材育成等の推進

等

<基本目標⑤>暮らしの安心を支える環境づくり

「人生100年時代」と言われる中、年齢、障害の有無、国籍に関わらず、誰もが生涯にわたって活躍できる社会を実現する。

- ◆ 企業等における健康経営の促進など健康づくり支援
- ◆ 就労と生きがいづくりとの一体的支援、移動支援の推進などによる高齢者の社会参加促進のためのモデル事業の実施
- ◆ 特別支援学校での職業教育の充実など障害者の就労支援
- ◆ 外国人材の早期適応研修モデルの作成及び普及、外国人児童生徒の日本語教育など多文化共生の推進
- ◆ ハード・ソフト面での総合的な防災・減災対策の推進

等

<基本目標③>人の流れづくり

企業誘致や大学の魅力向上、移住希望者と県内企業とのマッチング等により、東京圏等からの人口流入・定着を促す。

- ◆ 「産業空洞化対策減税基金」の活用等による産業立地促進
- ◆ ジェトロ等と連携した外資系企業誘致
- ◆ 県内大学の魅力づくり・活性化、大学等の資源を生かした地域連携
- ◆ 交流人口や関係人口の拡大による移住促進
- ◆ UIJターン希望者と県内企業のマッチング支援
- ◆ インターンシップの実施や企業見学会の開催など留学生の県内就職の促進
- ◆ 人の流れを支える社会基盤の整備・機能強化

等

<基本目標⑥>活力ある地域づくり

人口減少地域における「関係人口」の拡大による人口維持・増加を図る。また、経済・社会・環境が調和した持続可能な社会をつくるため、SDGsの理念を踏まえた様々な取組を進める。

- ◆ 東三河地域における観光・産業振興・就業促進
- ◆ 「関係人口」創出に向けた魅力PRなどの三河山間地域、三河湾の島々等の振興
- ◆ 公共交通の維持・充実に向けた市町村や交通事業者等と連携した取組の推進
- ◆ 再生可能エネルギー等の普及や生物多様性保全、循環型社会の形成など環境面の持続可能な社会に向けた取組の推進

等